

指定文化財（有形文化財）

馬頭観世音菩薩像

所在地 八街市根古谷337-2

安永3（1774）年11月に建立され、馬頭観世音菩薩を半肉彫りする。

馬頭観世音菩薩とは、煩惱を断つ観音としてあがめられ、また、馬の病気や安全を守る道しるべの仏様として信仰された。

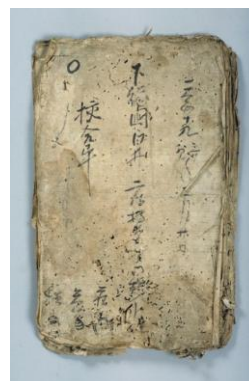


天正検地帳

所在地 郷土資料館

天正19（1591）年に市内の旧用草村（現用草区）で実施された太閤検地（豊臣秀吉により全国的に行われた検地）の記録。

市内で現存する最古の古文書。



永沢社鬼瓦

所在地 二州小学校

明治初期に八街の南部地区（旧小間子牧）の開墾のために、旧鍋島藩によって設立された開墾会社「永沢社」の屋根に葺かれていた鬼瓦。



指定文化財（有形文化財）

(県指定 有形文化財)

小金原のしし狩り資料「稲葉神明社の絵馬」

所在地 郷土資料館

嘉永2（1849）年、小金原で行われた鹿狩りの光景を描いた絵馬。

幕府の命により、鹿狩の人足に駆り出され、無事に帰還した酒和紋三郎が稲葉神明社に奉納したもの。

幕府による鹿狩は、牧の害獣（鹿・猪など）の駆除や武士の鍛錬を目的に行われた。

